

I 事業

【助成及び委託事業】

1. 東日本大震災被災 3 県の沿岸 NPO 支援組織のネットワーク化

助成元：タケダ・いのちとくらし再生プログラム第 2 期自主・連携事業（タケダ薬品×日本 NPO センター）

実施期間：平成 31 年 4 月～令和 2 年 3 月

(1) 事業概要

被災地の住民への支援の持続可能性を高めるためにも、NPO を対象にサポートする仕組みの充実と、NPO 支援組織自体の強化が必要である。また同じような被害を受けた地域間の連携を促進することにより、支援活動のあり方の研修や経験交流を通じて、相互連携の機会が生まれ、新たな価値創出のつながると考える。

本事業では、県域、市町村域を超えた支援組織のネットワーク化を行うことで、より質の高い NPO 支援が継続し、地域復興の支え手となる事を目的に実施する。

(2) 事業内容

①勉強会の開催 【対象：業務担当スタッフ】

支援組織の事業、運営に関わるスキルを高める、知識を深める（経営責任者の参加も可能）

- ▶ NPO 支援における基本スキルの向上研修
- ▶ NPO の運営についての基礎と応用研修
- ▶ NPO の各分野に関する研修 など

※手法については座学にとどまらず、外部研修や視察など現場を離れての研修や参加組織間の現場視察なども検討する。

②リンクアップ会議の開催 【対象：代表・事務局長（経営責任者）】

支援組織の経営のあり方やビジョン、NPO を取り巻く全国的な環境整備等について議論

- ▶ 各地の NPO の現状や課題についての情報交換と解決策の検討
- ▶ NPO に関するトピックに対する学習と対応の検討
- ▶ 震災復興に関わる課題や NPO を取り巻く課題についての提言を行う

※日本 NPO センターが実施の「CEO 会議」等の事業にも積極的に参加を検討する。

③視察研修 【対象：代表・事務局長（経営責任者）】

全国に目を向け NPO 支援の様々な方法や考え方について実際に足を運んで学び、知見の交換を行う。

④復興 NPO フォーラムの開催 【対象：NPO、行政、企業】

対象のエリアで活動する NPO 等を対象としたフォーラムを開催。経験交流、事例報告、トピックなどを通じて、学習すると共に連携を生み出す機会として開催。また、本企画は NPO 支援組織による実践の場とするために、実行委員会を設置して開催する。

毎年実施することにより、エリアの拡大はもとより、その内容や質の向上、参加者数の拡大などを実現する。

(3) 実施内容

①勉強会

支援組織のスタッフを対象に業務の実践に活かせる研修を実施（年2回）

▶ 第3回勉強会（※昨年度から継続）

開催日時：2019年7月9日（火）14:30～18:00

会場：多賀城市市民活動サポートセンター（宮城県多賀城市）

内容：市民活動とはなにか

ゲスト：山岡 義典さん（特定NPO法人市民社会創造ファンド・理事長

／特定NPO法人日本NPOセンター・顧問）

吹田 博史さん（武田薬品工業株式会社CSR企業市民活動・寄付担当部長）

参加団体：13団体／25名（事務局含まない）

▶ 第4回勉強会

開催日時：2020年3月16日（月）14:30～18:00

会場：KPガーデンシティPREMIUM仙台西口カンファレンスルーム6D

内容：SDGsを活用した地域課題解決への取り組みとNPOと企業のかかわり方

ゲスト：小柴 徳明さん（社会福祉法人黒部市社会福祉協議会・

総務課課長補佐/経営戦略係長

／特定NPO法人明日育 理事）

田尻 佳史さん（認定NPO法人日本NPOセンター 常務理事）

参加団体：13団体／20名（事務局含まない）

②リンクアップ会議の開催

支援組織の経営責任者（CEO）を対象に組織経営のあり方をはじめ、全国のNPOを取り巻く環境の整備等についての検討会議を実施（年5回）

▶ 第4回リンクアップ会議（※昨年度から引き続き）

開催日時：2019年5月28日（火）13:30～18:00

会場：第二日本オフィスビル 4階会議室（宮城県仙台）

内容：これからのNPOの支援の「あり方」を考える

参加団体：11団体／13名（事務局は含まない）

▶ 第5回リンクアップ会議

とうほくNPOフォーラムin陸前高田2019実行委員会

開催日時：2019年8月29日（木）13:30～17:30

会場：おおふなぼーと（大船渡市防災観光交流センター）会議室

内容：NPOサポートリンクメンバー団体活動紹介

視察研修及びとうほくNPOフォーラムin陸前高田2019について

参加団体：10団体／11名（事務局は含まない）

▶ 第6回リンクアップ会議

とうほくNPOフォーラムin陸前高田2019実行委員会

開催日時：2019年11月6日（水）13:30～17:30

会場：第二日本オフィスビル5階会議室（宮城県仙台市）

内容：視察研修のふりかえり

とうほくNPOフォーラムin陸前高田2019に伴う役割分担等

参加団体：11団体／11名（事務局は含まない）

▶ 第7回リンクアップ会議

開催日時：2020年1月14日（火）13:30～17:30
会 場：第二日本オフィスビル5階会議室（宮城県仙台市）
内 容：とうほくNPOフォーラム in 陸前高田2019ふりかえり
勉強会について
参加団体：9団体／10名（事務局は含まない）

▶ 第8回リンクアップ会議

開催日時：2020年3月17日（火）13:30～17:30
会 場：第二日本オフィスビル5階会議室（宮城県仙台市）
内 容：とうほくNPOフォーラム in 陸前高田2019振り返り
勉強会の振り返り
次年度事業計画及び体制について
参加団体：12団体／1名（事務局は含まない）

③視察研修

全国に目を向けNPO支援の様々な方法や考え方について実際に足を運んで学び、知見の交換を行う。（年1回）

開催日時：2019年10月8日（火）～10月10日（木）2泊3日
■1日目：ゆうあいセンター見学（岡山県ボランティア・NPO活動支援センター）
岡山NPOセンター
【岡山泊】
■2日目：北長瀬ランチ見学
ひろしまNPOセンター
■3日目：呉市市民活動サポートセンター見学
参加団体：10団体／15名（事務局は含まない）

④とうほくNPOフォーラム in 陸前高田2019の開催

岩手県・宮城県・福島県で活動するNPO等を対象としたフォーラムを開催。
昨年開催した「とうほくNPOフォーラム」では、「復興の先を見据えて《今、地域のあり方を考える》」というテーマを設定し、「地域における多様な担い手が、主体性を持ってつながりを生み、住民を巻き込んで未来を創る」というまとめを行いました。このまとめを受けて、今年は「復興の先を見据えて《今、NPOは何をするべきか》」というテーマを掲げました。NPOだけでなく、市民、企業、行政を含む、地域の多様な担い手の役割についても考える場として実施した。

開催日時：2019年11月27日（水）13:00～17:30
会 場：陸前高田コミュニティホール（岩手県陸前高田市）
内 容：復興の先を見据えて《今、NPOは何をするべきか》
《オープニング》
基調講演 加藤 憲一 様（神奈川県 小田原市 市長）
パネリスト 加藤 憲一 様（神奈川県 小田原市 市長）
戸羽 太 様（岩手県 陸前高田市 市長）
鹿野 順一（NPO法人@リアスNPOサポートセンター 代表理事）

《分科会A》

テ ー マ：地縁組織とNPOのこれから
タイトル：「NPOと多様な担い手の関係性、関わり方を考える」

《分科会B》

テ ー マ : 地域におけるつながりについて

タイトル : 「課題解決のための連携の手法や具体的なアクションを考え

《分科会C》

テ ー マ : 地域の作り方

タイトル : 「被災地の未来を見据え、そのあるべき姿を考える」

《分科会D》

テ ー マ : 地域への若者の参画

タイトル : 「次世代・若者の参加」

《クロージング》

「復興を見据えた、NPOが担う役割のヒント」(各分科会の報告から)

参 加 者 : 112名 (実行委員・マスコミ・事務局は含まない)

詳細は@リアスNPOサポートセンターのホームページをご参照ください

<http://rias-iwate.net/tohoku-npo-forum-2019-report/>

⑤ 幹事会の開催

NPOサポートリンクの円滑な運営のために会員から幹事団体を募り、定期的に企画等についての協議を行う幹事団体会議を実施。

年4回 (オンライン会議含む)

⑥ 事務局会議の実施

本事業を円滑に実施するため定期的に開催。

年7回 (オンライン会議含む)

2. 若者TECHプロジェクト

委託元 : 認定NPO法人育て上げネット

実施期間 : 平成31年4月～令和2年3月

(1) 事業概要

「すべての若者支援現場に、ICTを学び、ICT学習を通じて成長する機会をつくり、若者の成長可能性と雇用可能性を最大化する」ことを目指して、日本マイクロソフト株式会社と若者支援に取り組むNPOが協働し、若者支援現場で活用できるICT学習のカリキュラムを「開発」し、「検証・ブラッシュアップ」し、「普及」する取り組みです。2010～2017年度に、同じく日本マイクロソフトと全国の若者支援NPO等が協働して取り組んできた「若者UPプロジェクト」(Word・Excel・PowerPoint等、Office系アプリを中心としたITスキル研修の実施)によるネットワークと知見を土台として、より時代のニーズにマッチしたものとして発展したプロジェクトとする。

(2) 事業内容

① 様々な若者支援現場に導入しやすいコース(カリキュラム・教材・講師用ガイド)の開発

② 開発したカリキュラム等の若者支援現場での実践検証とブラッシュアップ

③ 効果検証とブラッシュアップされたカリキュラムと教材の普及

(3) 実施体制

【プロジェクトオーナー】

日本マイクロソフト株式会社

【コア団体】

- ・ N P O 法人@リアス N P O サポートセンター（事務局&コア団体）
- ・ N P O 法人 I C D S
- ・ N P O 法人こうべユースネット
- ・ 認定 N P O 法人育て上げネット（事務局&コア団体）

(4) 実施内容

①コア団体として

- ▶ 岩手県（1 団体）・宮城県（1 団体）・福島県（1 団体）の若者就労支援団体と協力し、マインクラフト（サウンド B O X 型ゲーム）を活用したカリキュラム・教材・講師用ガイドの開発を実施
- ▶ 開発したカリキュラム等の、若者支援現場での実施

②事務局として

- ▶ プロジェクト実施に伴う全体に関わる作業
- ▶ コンテンツを活用した講座の体験会実施による普及活動（大阪・名古屋・東京・仙台）

3. 被災者支援コーディネーター事業

委託元：特定 N P O 法人いわて連携復興センター

実施期間：平成 31 年 4 月～令和 2 年 3 月

(1) 事業概要

東日本大震災に伴う避難生活の長期化や、災害公営住宅等への移転など、被災者を取り巻く生活環境が変化する中で、被災者が安定的な日常生活を営むことができるように、被災者の円滑な生活再建の支援、心のケア、生きがいつくりによる「心の復興」やコミュニティ形成の促進等、各地域の復興の進展に伴う課題に対応した支援活動を総合的に支援することを目指す。

(2) 事業内容

- ①被災地域の現状・課題、個別の支援ニーズ等の把握及び整理
- ②被災地域の課題や個別の支援ニーズに対して、多様な活動主体による支援策の実施のためのコーディネーターの実施（ニーズとリソースのマッチング）
- ③一つの市町村内や市町村の区域を越えた、行政と N P O 及び企業等の多様な活動主体間の連携協働体制の構築
- ④各地域の課題や取組の分析及び被災地域全体への波及

(3) 実施内容

- ① 釜石地域の N P O 等を訪問し、活動の中から被災地域の現状・課題を把握し、課題シートに整理し、いわて連携復興センターに報告した。
- ② 被災地の課題や個別の支援ニーズに対し、いわて連携復興センターの地域コーディネーターと連携し支援策を実施した。
- ③ 陸前高田市、大船渡市、釜石市、大槌町、山田町、宮古市の各地域の調整員といわて連携復興センターの地域コーディネーターによる活動報告及び課題やニーズの共有を行った。

（月 1 回計 12 回）

4. 東京都による芸術文化を活用した被災地支援事業

助成元：公益財団法人東京都歴史文化財団

実施期間：平成 31 年 4 月～令和 2 年 3 月

(1) 事業概要

未曾有の大震災の影響により、崩壊や再生を余儀なくされる被災地の地域コミュニティへ芸術文化による復興支援を行う。本プログラムは、復興における地域間の連携を生み出す契機として、複数地域(岩手県・宮城県・福島県)の現地受け入れチームとともにアートプログラムを実施するものである。

(2) 実施内容

① こども創作教室「ぐるぐるみっくす」 in かまいしこども園

2019 年

- 7 月 8 日 (月) 13:30～14:30 ぐるぐるの会①
- 7 月 9 日 (火) 13:30～14:30 ぐるぐるの会②
- 8 月 27 日 (火) 9:30～11:30 ぐるぐるミックス①
- 9 月 30 日 (月) 13:30～14:30 ぐるぐるの会③
- 10 月 1 日 (火) 10:30～11:50 ぐるぐるミックス②
- 10 月 2 日 (水) 13:30～14:30 プログラム講座
- <10 月～11 月 プチぐるの実施 5 クラス>

2020 年

- 2 月 25 日 (火) 13:00～14:30 ぐるぐるの会④
- 2 月 26 日 (水) 13:00～14:30 ぐるぐるの会⑤
- 2 月 27 日 (木) 10:00～11:50 ぐるぐるミックス③

② とうほくのこよみのよぶね

新型コロナウイルスの影響で中止とした。

しかし、関係各所と協議の上、感染予防対策を行うことと非公開を条件に「みんなのきもち」を急遽実施した。

■3 月 10 日制作

宝来館にて日比野克彦氏及びこよみのよぶね実行委員会の指導の下、スタッフ 10 名で「みんなのきもち」を作成した。

■3 月 11 日展示

宝来館のデッキに組み立て点灯、展示を行った。

当日は、宝来館へ追悼のために訪れた方々と急遽「みんなのきもち」に装飾する和紙の飾りつけを約 15 人のワークショップを行った。

震災発生時刻の 14 時 46 分には、他の式典などもあり約 100 名の方が黙とうをしてあの時に思いを寄せた。

5. 生活再建移行期被災者支援連絡員事業

委託元：釜石市

実施期間：平成 31 年 4 月～令和 2 年 3 月

(1) 仮設住宅団地及び災害復興公営住宅巡回訪問

支援連絡員が仮設団地内を 1 日 1 回及び災害復興公営住宅を週 2 回巡回し、住民の在宅・不在確認(安否確認)、普段との違いが無いか、設備等各種破損が無いか確認した。

仮設全域巡回数 21,299回

釜石	平田	甲子	小佐野	中妻	鶉住居	栗橋	唐丹
1,624回	3,009回	1,374回	1,537回	1,437回	7,671回	3,898回	749回

復興住宅巡回数 59,358回

釜石	平田	小佐野	中妻	鶉住居	唐丹
26,036回	4,807回	1,023回	9,530回	14,154回	3,808回

(2) 談話室・集会所の管理

談話室・集会所の鍵管理とスケジュールの管理を行った。

仮設談話室イベント開催数 168回

釜石	平田	甲子	小佐野	中妻	鶉住居	栗橋	唐丹
0回	14回	0回	0回	56回	25回	73回	0回

(3) 住民からの相談受付

仮設住宅及び復興公営住宅に居住する住民から各種相談を受け付け関係各所に繋ぎ、解決を図った。
又、現場での対応処置も行った。

仮設住民からの相談受付件数 44件

釜石	平田	甲子	小佐野	中妻	鶉住居	栗橋	唐丹
5件	9件	9件	0件	2件	10件	8件	1件

復興住宅からの相談受付件数 27件

釜石	平田	小佐野	中妻	鶉住居	唐丹
9件	2件	0件	1件	14件	1件

6. 熊本地震被災地支援事業

委託元：アベニールジャパン株式会社

実施期間：平成31年4月～令和2年3月

当法人が行ってきたICTを活用した被災地支援活動のノウハウの提供と、被災者支援活動を実施する団体間の情報共有体制の構築を支援した。

7. 土砂災害防止法基礎調査（住民意識調査）事業

委託元：岩手県沿岸広域振興局

実施期間：実施期間：平成31年4月～令和2年3月

住民説明会の資料印刷、準備及び説明会場での補助を行った。

本年度は釜石市・大槌町で5回開催した。

【自主事業】

1. 自主事業 実施期間：平成31年4月～令和2年3月

(1) NPO支援センター事業

① 釜石地域で活動するNPO等を訪問し団体活動の状況を把握及び相談対応を行った（随時）

➤ のべ25団体

※被災者支援コーディネート事業と合わせて実施

- ② 助成金情報や講座、イベント情報等をホームページ・Facebook・メール等を活用し情報発信を行った（随時）
- ▶ メール：60 件
 - ▶ ホームページ・Facebook：31 件
- ③ 釜石地域で活動する N P O や行政などの情報共有や活動に必要なスキルアップを目的としに釜石地域まちづくり連絡会議の開催（月 1 回第 2 木曜日）
- ▶ 8 回開催（台風 19 号・新型コロナウイルス感染拡大防止の影響により中止 3 回）
- (2) Minecraft カップ 2 0 1 9 全国大会 釜石ワークショップ
- サウンドボックス型のゲームである Minecraft の教育版「Minecraft: Education Edition」を使用しデジタルなものづくりを競うコンテスト「Minecraft カップ 2 0 1 9 全国大会」の公式イベントとして実施
- 開催日時：2019 年 7 月 13 日（土）9:45～17:00
- 会 場：釜石鵜住居復興スタジアム・釜石 P I T
- 実施内容：
- ▶ 釜石鵜住居復興スタジアムを見学
 - ▶ Minecraft にて釜石鵜住居復興スタジアムを作成
- 参 加 者：小学校 1 年生から中学校 1 年生の 21 人

II 事業の実施に関する事項

1 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	実施 日時	実施 場所	従事者 の人数	受益対象者 の範囲及び 人数	事業費 の金額 (千円)
住民の地域社会に対する NPO活動の支援に関する事業	東日本大震災被災3県の沿岸NPO支援組織のネットワーク化	平成31年4月1日～令和2年3月31日	釜石市内	2人	市内NPO団体等	10,415
地域を活性化させるための人材(起業家)の育成、支援に関する事業	若者TECHプロジェクト	平成31年4月1日～令和2年3月31日	釜石市内	2人	市内NPO団体等	2,976
住民の地域社会に対する NPO活動の支援に関する事業	被災者支援コーディネート事業	平成31年4月1日～令和2年3月31日	釜石市内	2人	市内NPO団体等	957
住民の地域社会に対する NPO活動の支援に関する事業	東京都による芸術文化を活用した被災地支援事業	平成31年4月1日～令和2年3月31日	釜石市内	2人	釜石市内の住民等	2,700
行政団体・市民団体等の業務受託に関する事業	生活再建移行期被災者支援連絡員事業	平成31年4月1日～令和2年3月31日	釜石市内	22人	市内仮設住宅団地及び復興公営住宅の住民等	35,700
まちづくりの調査研究事業に関する事業	熊本地震被災地支援事業	平成31年4月1日～令和2年3月31日	釜石市内	1人	市内仮設住宅団地及び復興公営住宅の住民等	771
まちづくりの調査研究事業に関する事業	土砂災害防止法基礎調査(住民意識調査)事業	平成31年7月18日～令和2年3月20日	釜石市内	3人	釜石市内の住民等	1,946
住民の地域社会に対する NPO活動の支援に関する事業	NPO支援センター事業	平成31年4月1日～令和2年3月31日	釜石市内	2人	市内NPO団体等	-
					事業費合計	55,467

2 その他の事業

実施しなかった。